

地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより



秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 発行

第55号

1. 地域連携、入退院支援における感染防止対策

コロナ禍で大きく環境が変わった状況のもと、当センターでの**感染防止対策**の取り組みをご紹介します。



1. 相談対応

- 電話相談を推奨しています。
- 対面で相談対応する場合、**短時間（30分以内）**に心がけ、ドアは密閉せず5cm程開放し、**換気に配慮**しながら対応しています。
- 面談室のテーブルには、**アクリル板を設置**しています。
- 相談対応するスタッフは、**フェイスシールドとマスク**を着用しています。
- 相談対応終了後は、**テーブルやドアノブ等を「セーフキープ」**で清拭しています。

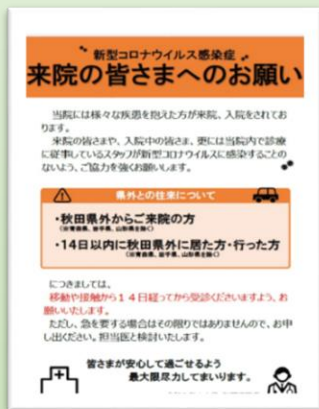


2. FAX紹介予約取得

- 紹介元医療機関の住所、紹介患者さんの**居住地を確認**しています。
- 秋田県外(青森県、岩手県、山形県を除く)から来県される方、14日以内に秋田県外へ居た方・行った方には、14日間外出を控えた後にご来院いただいていること、急を要する場合は、電話で問い合わせしてほしいことを伝えています。
- 紹介元の医療機関には、**予約票と「来院の皆様へのお願い」**の用紙をFAXし、患者さんに渡して下さるようお願いしています。



よろしくお願いします



3. 入院前支援

- 「**入院予約された方へ～新型コロナウイルス感染症予防のためのお願い～**」「**院内感染防止のためのお願い**」の他、「**健康観察記録票**」の記録、**面会制限等**について丁寧に説明し、ご協力をお願いしています。

4. 退院支援、退院・転院調整

- 院外関係者(ケアマネ、認定調査員、ヘルパー、訪問看護師等)の来院は、なるべく控えていただいています。
- 必要時は、**個室や面談室等で短時間対応**するように設定し、**詳細な情報は電話等で伝達・共有**しています。場合によっては、**リモートで対応**しています。
- 面会禁止**のため、ご家族は在宅療養のイメージがつかない**困難感**や**療養に必要な支援取得に不安**を抱えています。多職種と連携を図り、患者さんやご家族の思いに寄り添いながら、“帰りたい”を叶えようと日々頑張っています。

5. センターカンファレンス

- 毎週木曜日8:30~30分間、**オンライン開催**し、関係者約20数名が毎回参加しています。
- 運営や事例の検討、対応の情報共有、最新知識を学ぶ勉強会等を行なっています。

6. がんサロン

- 今年度は、**オンライン開催**で実施しています。

第1回：6月24日（木）14：00～15：00

『**がんと診断された時からの緩和ケアについて**』

第2回：8月31日（火）14：00～15：00

『**こころとからだの栄養講座～みんなでがんと栄養について考えよう～**』

第3回：10月28日（木）14：00～15：00

『**～あなたのこと、教えて下さい～**』

毎回好評です
対面でできる日を
心待ちにしています




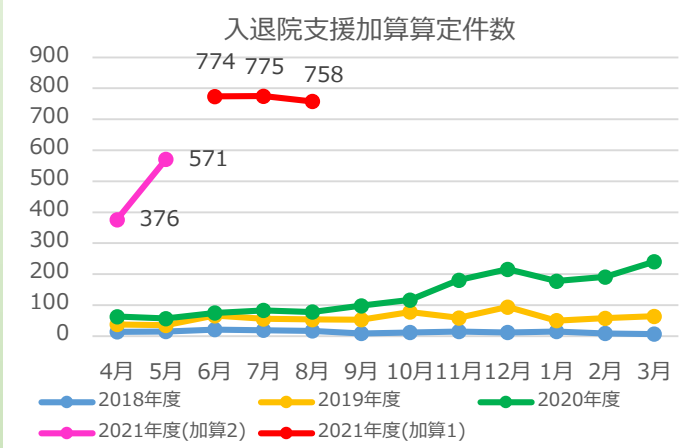
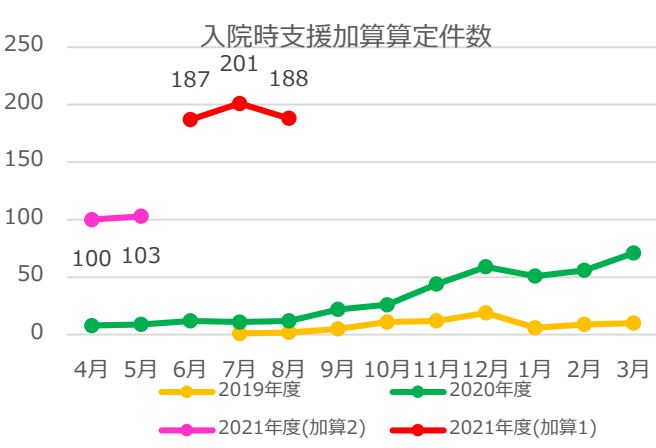
2. 入退院支援に関わる算定状況



- ・6月から「入院時支援加算1（230点）」「入退院支援加算1（600点）」の算定を開始しました。
- ・「入院時支援加算1」の算定件数は、**6月187件,7月201件**であり、入院患者の**約2割**に算定できていました。
- ・「入退院支援加算1」の算定件数は、**6,7月共700件/月**を超えており、入院患者の**約7割**に算定できていました。算定件数の増加が顕著であり、収益増に大きく結びついていると捉えています。
- ・入院前支援対応件数は、**6月266件,7月245件**であり、対応件数に対する入院時支援加算の算定割合は、**6月70.3%,7月82.0%**と高い状態でした。これは、予定入院患者が入院前支援を受けて入院し、入院後は、退院支援を受けて自宅退院できていることを示し、入院前支援と退院支援の連携が順調にできていることが伺われます。今後も、体制をブラッシュアップしながら、患者サービスの向上に努めていきたいと考えています。

《算定件数増加とこれまで以上にきめ細やかな支援と対応が可能になったと考えられる要因》

- センタースタッフの部署担当の明確な配置
- 全部署でほぼ毎日カンファレンスを実施
- カンファレンス記録の確実な記載と「見える化」
- 記録と会計連携のシステム構築
- 「入院前支援療養計画書」「入退院支援フロー図」「入退院支援チーム医療機能の使用法」の周知

3. 第17回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会 2021.7.9～7.10 当番校 福井大学

2年ぶりにオンライン開催され、『医療連携は地域を幸せにするのか』がテーマでした。当院から飯島センター長はじめ田村医事課長のほか、総勢10名が参加しました。パネルディスカッションは、1.「業務多様化時代の前方連携をめぐる課題」、2.「コロナ禍における国立大学病院の役割」、3.「連携部門における人材育成と働き方改革」の3テーマで展開されました。前方連携の迅速な情報収集と受入を行うための工夫と課題、コロナ禍における大学病院地域連携部門の果たすべき役割、人材育成と働き方改革を巡る課題と解決方法等について共有し、新たな知見を得ることができました。ポスターセッションでは、当院は「**入退院支援加算1取得に向けた体制整備と構築**」について発表しました。体制整備や実際の運用等について複数の質問があり、大変有意義な機会となりました。

第17回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会
ポスターセッション

地域連携における最近の取り組み
入退院支援加算1取得に向けた体制整備と構築

2021年7月9日(金)
秋田大学医学部附属病院
地域医療患者支援センター・
がん相談支援センター



病院玄関前の花壇

季節は、実りの秋となりました。病院玄関前の花壇は、秋を感じる花々が彩っています。ローソン前の外庭ガーデンエリアは、とってもステキに造園され、癒しの空間となっています。ぜひ、ご覧ください。

